

とうかいグッドトイ委員会 おもちゃ通信

2019年
3月号



ホームページ: <http://toukaigoodtoy.web.fc2.com/>

おもちゃ通信は会員同士の情報共有とつながりづくりを目的として発行する月刊通信です(＾O＾)

こんなおもちゃを見つけました

「ラッキーキューブ」ハナヤマ

最近のおもちゃ業界では「知育」「活脳」を売り文句にした商品をよく目にしますが、ブームなのでしょうが？そうした中、最近東急ハンズや家電量販店のおもちゃ売り場で一躍脚光を浴びているのがパズルの老舗ハナヤマの商品です。今回はその中で私が特に面白いと感じた「ラッキーキューブ」を紹介します。このおもちゃは簡単に言えば付属の問題にそって形合わせをするパズルゲーム。箱から取り出して触ってみてビックリ！1個のキューブが8個つながったパズルだと思っていれば、なんと二つのパズルに分れたりとからくりの要素もあり、安い価格ながらもなかなかよくできています。思わず時間を忘れて遊んでしまう一品です。一つ1,680円です。暇つぶしにも脳トレにも最適です。



おもちゃエッセイ11

「中古という価値」

先回紹介した「愛蔵こけし展」の会場にある販売コーナーでのこと。その一角に「中古こけし販売」の文字を見つけた。なんだろうと見ると少し古めかしい大小のこけしが安価で販売されていた。中古の意味がわからず受付の方に尋ねると昔誰かの家にあったこけしを津軽こけし館が引き取り、状態のよいものを中古こけしとして販売しているとのこと。イメージ的に最初は抵抗感があったものの、眺めていると表情や胴体の絵柄に趣深さに魅せられつい一番安かった900円の2寸こけしを購入。東北のこけしには必ず作家名が裏書きされているため、家に帰って早速作者名を検索すると宮城の女性作家さんが作られた作品と判名。その瞬間何気なく買ったこけしがすごく貴重なものに思えてきたのは何故だろうか。中古こけしはすでに亡くなった作家が作ったものも多く、求めるコレクターが多いのだとか。「他のこけしもじっくり見るべきだったかな」とその時悔やんだのは言うべくもない。



★角さんの今月のゲーム

「ミスターウルフ」

メーカー：ブルーオレンジ社 プレイ人数1～4人
対象：4歳～ プレイ時間10分

今年ももう3月、早いですね！今回は2019年のフランスキッズゲーム大賞に輝いた「ミスターウルフ」をご紹介します。オオカミが襲ってくる前に動物たちを小屋に戻す協力ゲームです。ルールはかんたんで、チップをめくって小屋に描かれている動物が出れば小屋に入れ、描かれているのと同じ数の動物を全ての小屋にちゃんと入れていけばみんなの勝ちになります。ただし、オオカミが出てしまうと、一歩ずつ小屋に近づいていきます。オオカミが小屋に到着してしまうとみんなの負けです。単純な記憶ゲームにみえて、これが意外と難しい！大人と子どもが力を合わせて遊べる楽しいゲームです。



児童館活動ア・ラ・カルト(17)



熱田児童館の『作って遊ぼう』

4月から始まった「作って遊ぼう」が終わりに近づきました。1年を振り返ってみると、子どもたち成長しました。

「ようやく自分の思うように作れるようになった」作品を早く作りあげる子は、じっくりと取り組む姿が見えたり、取り掛かるのに時間のかかる子は、少しずつ取り組みが早くなってきたりと変化が見られるようになりました。とっでもううれしい瞬間です。1年経って気がつきました。みなさんも是非参加して、この瞬間を共有しませんか。(H.E)

【編集後記】今回もグッド・トイ2019の投票受付が始まりました。今回私は推薦しませんが、次回推薦しようと暖めていたおもちゃ2点がどなたかに推薦されていました。うれしい気持ち反面、悔しい気持ち反面です。

b y うちやま